

奄美大島の海底に「ミステリーサークル」を作るアマミホシゾラフグ *Torquigener albomaculosus* Matsuura, 2014が世界の新種トップ10(2015年)に選ばれました。

「世界の新種トップ10」は国際生物種探査研究所(ニューヨーク州立大学)が生物多様性の研究や保全、そして分類学の発展のために推進している活動です。同研究所は生物多様性研究や分類学研究のトップレベルの研究者10数人で構成される選考委員会を組織し、全世界から報告される新種の中から特筆すべき10種を選考しています。動物、植物、菌類およびバクテリアなど、全世界から報告される生物の新種は、毎年約18,000種に達します。日本から、そしてIchthyological Researchで報告された新種が「世界の新種トップ10」に選ばれたのは今回が初めてです。今回の選考結果は<http://www.esf.edu/top10/>からご覧頂けます。

<詳細>

アマミホシゾラフグ *Torquigener albomaculosus* Matsuura, 2014

- **特徴**：このフグの雄(全長12cm)は、水深25mの海底の砂地にミステリーサークルと呼ばれる直径2mもある産卵巣を作ります。産卵巣には同心円状の溝があり、円の縁には二重の土手のような構造があります。このように、巨大で複雑な構造をもつ産卵巣を作る魚類は知られていませんでした。
- **他のフグとの違い**：アマミホシゾラフグは、下顎の形態や頭蓋骨の形態によって、シッポウフグ属(フグ科)に分類されます。シッポウフグ属は19種から構成されています。アマミホシゾラフグは、他の19種から体表面の小棘の分布状態や体の色彩によって区別されます。
- **分布域**：アマミホシゾラフグは、奄美大島の南岸で発見されました。現在までに「ミステリーサークル」が見つかっているのは奄美大島の南岸とその対岸にある加計呂麻島の北岸、そして奄美大島北部のみです。
- **発表論文**：Matsuura, K. 2015. A new pufferfish of the genus *Torquigener* that builds “mystery circles” on sandy bottoms in the Ryukyu Islands, Japan (Actinopterygii: Tetraodontiformes: Tetraodontidae). *Ichthyological Research*, 62: 207–212. DOI 10.1007/s10228-014-0428-5
(論文のオンライン版は2014年9月6日に出版されており、この日付が新種の発表日付となる)

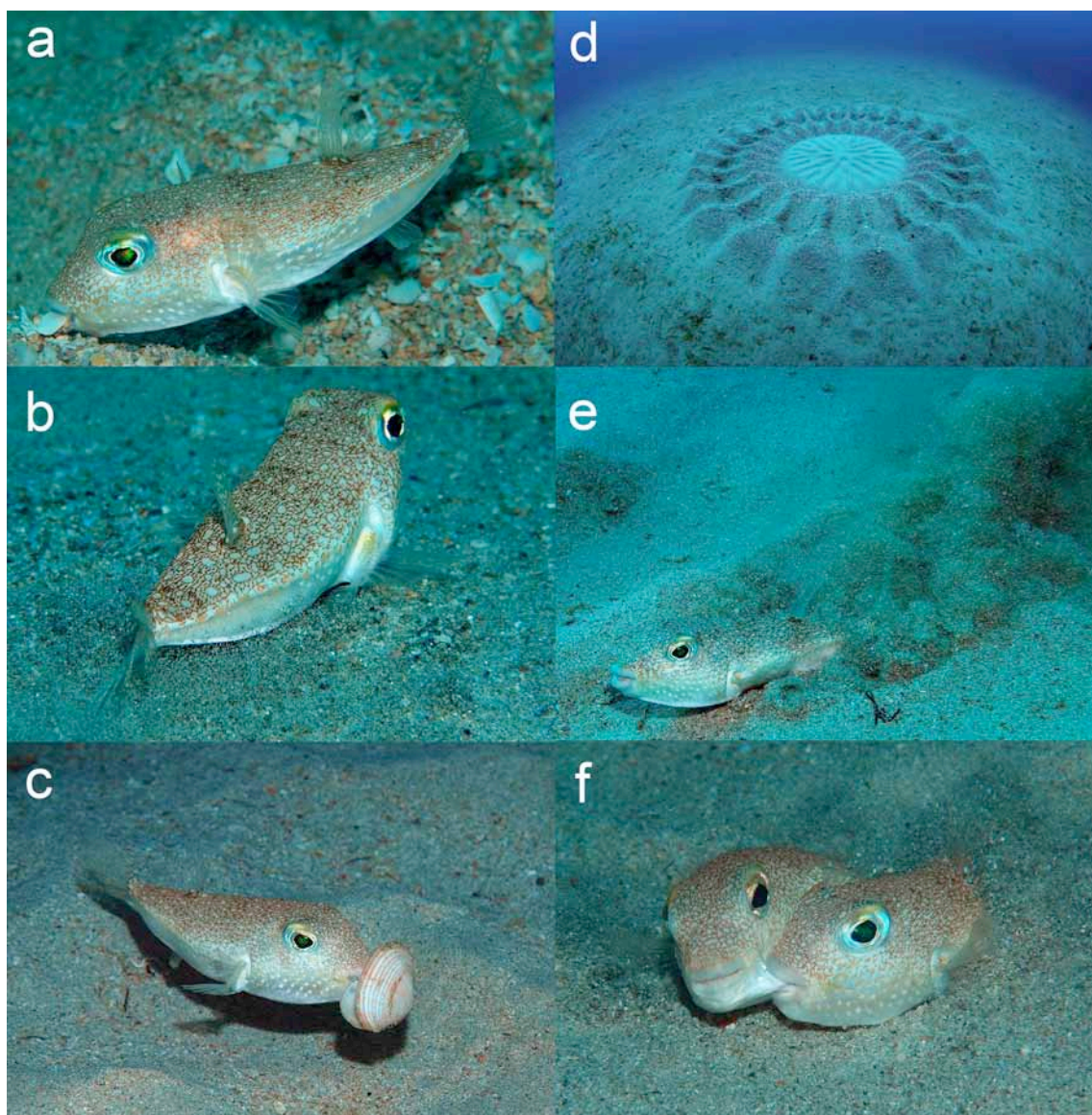


図 アマミホシゾラフグの写真

a アマミホシゾラフグの雄 ; b 胸鰭を使って砂を掘る雄 ; c 貝殻を運ぶ雄 ; d 直径 2m の産卵巣 (ミステリーサークルと呼ばれている) ; e 体の後部と臀鰭を左右に振って砂地に溝を作る雄 ; f 雄 (右) が雌 (左) の頬を咬んで産卵を促している (写真 : 大方洋二). Matsuura, K. 2015. A new pufferfish of the genus *Torquigener* that builds “mystery circles” on sandy bottoms in the Ryukyu Islands, Japan (Actinopterygii: Tetraodontiformes: Tetraodontidae). *Ichthyological Research*, 62: 207–212. DOI 10.1007/s10228-014-0428-5 より.